

平成25年度  
事業計画書  
収支予算書

公益財団法人相模原市産業振興財団

## 公益財団法人相模原市産業振興財団 平成25年度 事業計画

わが国の経済は、長引く円高・デフレ不況に対応した国の経済対策等による景気回復期待を先取りする形で、過度な円高の修正が進み、株価も回復の動きを見せるなど、明るい兆しも見られるようになった。しかし、とりわけ中小企業における足許の業況は依然として厳しく、さらに欧州債務問題など海外経済に起因する景気下押しリスクや、中小企業金融円滑化法の終了に伴う企業の資金繰りへの影響など、先行きに対する懸念材料も多い。

本市にあっても、相模原商工会議所が実施する景気観測調査では、全業種で業況判断指数が悪化傾向を示す状況が続くなど、調査からは売上げ不振や受注単価の低下等に苦しむ市内企業の姿が見て取れる。

このような状況において、相模原市では相模大野駅西側地区再開発ビルの開業や、さがみ縦貫道路インターチェンジの開設が進み、さらにリニア中央新幹線駅の建設や米軍相模総合補給廠の一部返還に伴うまちづくりなど、大規模な事業の計画が集中しており、本市が首都圏南西部をリードする広域交流拠点都市として大きく飛躍しようとしていることから、当財団の役割もますます大きくなるものと考えられる。

こうした中、公益財団法人への移行2年目となる平成25年度においては、市内中小企業の経営の安定と発展を支援するためのサポート体制を強化するほか、平成24年度に開始した創業・起業総合支援事業を引き続き実施し、旺盛な起業意欲が現実の開業につながるよう、きめ細かな支援を継続して実施するなど、相模原市の産業振興に向けた事業を実施して行く。

また、当財団の設立当初の趣旨を踏まえ、市立産業会館を活用した相模原市域全体の産業界のさらなる活性化に向けて、今年度に公募される市立産業会館の指定管理者に応募することとし、平成26年度からの指定管理の獲得と業務開始に向けた準備を行う。

## 1 中小企業経営の安定と発展に向けた事業の実施

### (1) ものづくり企業総合支援事業（受託事業）

財団のコーディネーターが製造業を中心とした市内中小企業を訪問し、経営の状況や課題等を聞き取って製品・技術開発、販路開拓、海外進出等、事業者が抱える様々な経営課題の解決に向けてのサポートを行い、市内中小企業の経営の安定と成長を支援する。

平成25年度からは、より高度・専門的な知識等が必要な課題に対応するため、大手企業OBや専門コンサルタント等適切な専門家を、期間を定めて派遣し、ものづくり企業に対する支援体制を強化する。

なお、本事業は、これまで緊急雇用補助金等によって実施してきたが、市内企業に対する支援の継続と、ノウハウ等の蓄積を図っていくことを目的に、平成25年度より、相模原市受託事業として実施する。

訪問予定企業数：180社

事業費 18,140千円

### (2) 国内展示会相模原ブース出展事業

相模原市の産業情報を発信し、高度な技術を有する企業が集積する内陸工業都市として広くアピールすると同時に、市内企業の販路開拓支援を目的とし、10月に東京ビッグサイトで開催される「東京国際航空宇宙産業展2013」に、先進的な技術や製品などを有する市内中小企業を取りまとめ、相模原ブースとして共同出展する。

展示会名：東京国際航空宇宙産業展2013（ASET2013）

（主催：東京都、株式会社ビッグサイト）

開催期間：平成25年10月2日（水）～4日（金）

相模原ブース数：10小間（予定）

来場者数：23,373名（平成23年度実績）

※ なお、実施にあたっては市、相模原商工会議所、各商工会、（株）さがみはら産業創造センターと連携して行う。

事業費 7,036千円

### (3) 相模原市トライアル発注認定製品出展事業（受託事業）

「相模原市トライアル発注認定制度」の目的である販路開拓支援の一環として相模原市から受託し、国内展示会に認定製品のPRブースを出展する。

出展展示会

ア. 産業交流展2013

日程：平成25年10月30日（水）～11月1日（金）

会場：東京ビッグサイト

イ. テクニカルショウヨコハマ2014

日程：平成26年2月5日（水）～7日（金）

会場：パシフィコ横浜

事業費 1,065千円

### (4) 九都県市合同商談会

首都圏の政令指定都市の産業支援機関として、九都県市合同商談会（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市）の企画・運営に参画し、中小企業の広域的なビジネスマッチングの機会を創出する。

開催事務局：東京都

開催時期・会場等未定

事業費 一千円（市負担）

### (5) 国内見本市出展助成事業

ものづくり中小企業の販路開拓を支援するため、市内中小企業が国内で開催される見本市に出展する際の、経費の一部を助成する。

また、見本市を有効に活用して成果につなげることができるよう、見本市出展・活用ノウハウをテーマにしたセミナーを開催する。

助成金対象：製造業及び情報通信業を営む市内中小企業等

助成額：出展料（小間代）の2分の1以内（上限20万円）

事業費 7,810千円

## (6) 海外見本市出展助成事業

ものづくり中小企業の海外での販路開拓を支援するため、市内中小企業が海外で開催される見本市に出展する際の、経費の一部を助成する。

対 象：製造業及び情報通信業を営む市内中小企業等

助成額：出展料の一部（上限20万円）

事業費 600千円

## (7) 相模原市制度融資事務事業（受託事業）

相模原市中小企業融資制度の円滑な運用を図るため、市より融資事務を受託して市制度融資に関する相談、確認書等の申請の受付、データ入力等の業務を行う。

事業費 5,066千円

## (8) 産学連携事業の推進

事業費 962千円

### ア 相模原市産学連携スタート支援補助金制度

市内中小企業の技術力向上及び製品・技術の高付加価値化に寄与するため、企業が行う大学等との産学連携による取り組みの促進を図る目的で、共同研究等に要する費用の一部を補助する。

対 象：市内で1年以上継続して事業を営み、補助対象事業を市内の事業所で行う中小企業者。（さがみはら産業創造センター入居の中小企業は1年未満可）

対象事業：新技術・新製品開発、既存技術の高度化を目的として大学等と行う共同研究、委託研究、試験・分析・技術指導等。

補助金額：25万円以内（補助対象経費総額の2分の1以内。但し、市内大学等との連携の場合は3分の2以内）

### イ 産学連携の促進、支援

中小企業が抱える技術的な課題等の解決を支援するため、県内の13大

学と6つの公的産業支援機関、及び工業団体などで構成する「かながわ産学公連携推進協議会」を活用して、産学連携を促進する。

なお、本事業はものづくり企業総合支援事業による経営課題解決支援の一環として、同事業と一体的に実施する。

#### ウ 大学キャラバン隊事業

独自の技術や特色を持つ企業等を紹介し、新たな支援ニーズや事業プランの発掘につなげる目的で、大学の技術研究者や産業支援機関の職員等を募って企業を訪問する、キャラバン隊事業を実施する。

## 2 産業人材の確保・育成事業の実施

### (1) 中小企業工業団体活動促進事業

市内中小企業工業団体の育成及び活動の促進を図り、市内工業の振興に寄与することを目的として、団体が実施するセミナー、研修会等の事業に要する経費の一部を補助する。

対象事業：団体構成員の経営及び技術力の向上に資する事業

補助金額：10万円以内（補助対象経費の2分の1以内）

事業費 500千円

### (2) ものづくり企業見学キャラバン

若者がものづくりに関心に向け、また市内企業の魅力を知ることによって、相模原市におけるものづくり人材の底辺の拡大と、将来に向けた雇用機会創出の一助とすることを目的に、高校生を対象とした市内中小企業への訪問キャラバン隊事業を実施する。

対象：市内に居住・通学する高校生（30名程度）

実施時期：7月～8月

事業費 166千円

### (3) 人材育成等に係る事業への支援

未来の産業界を担う児童、若者たちが起業のプロセスを体験学習する「さがみはら子どもアントレプレナー体験事業」(実施機関：株式会社さがみはら産業創造センター)の実施を支援する。

事業費 100千円

### (4) ものづくり人材確保・育成事業(受託事業)

永年、ものづくりの現場に携わってきた熟練技術者等が持つ技術、経験、ノウハウ等の、中小企業への移転・継承を図ることによって中小企業の技術力向上や、経験・ノウハウ不足を補うことを目的に、大手企業OB人材等の派遣を行って、中小企業における人材育成を支援する。

なお、実施にあたっては、多くの人材登録数を有する派遣事業者等への委託を検討する。

事業費 1,180千円

## 3 国際化の促進や産業経済情報の収集・提供に関する事業の実施

### (1) 国際化の支援に関するセミナーや貿易相談会の開催

中小企業が海外展開を進める上で対応すべき諸課題や、諸外国の経済動向、法律・商慣習等に関するセミナーを開催し、最新の情報を提供して市内企業の海外進出を支援する。

また、海外進出に関して企業が抱える、個別具体的な課題解決を支援するための貿易相談会を実施する。

これらの実施にあたっては、JETRO(日本貿易振興機構)、関東経済産業局、中小企業基盤整備機構等との連携によって行う。

セミナー：4回開催

貿易相談会：1回開催

事業費 425千円

## (2) 海外展開アドバイザー事業

海外への進出を検討している中小企業に対し、進出先の産業、市場などのマーケティング情報の収集を行う海外展開アドバイザー事業をJETROの協力により実施する。

なお、本事業はものづくり企業総合支援事業による経営課題解決支援の一環として、同事業と一体的に実施する。

事業費 一千円

## (3) 国際経済・企業情報の受発信

海外の展示会・見本市等の開催情報、国や県の助成金等の支援情報など、企業の海外展開に役立つ情報を当財団のホームページを活用し、提供する。

事業費 一千円

## (4) インターネット情報提供事業

財団のホームページを活用し、市や産業支援機関等から提供される情報以外にも各種創業支援情報、地域のビジネスニュース、トピックス等、市内の事業者にとって有益な情報を発信する。

また、引き続き、情報を集約したメールマガジンの配信を月2回行って、タイムリーな情報発信に努める。

事業費 4,475千円

# 4 創業及び新事業創出の支援に関する事業の実施

## (1) 創業・起業総合支援事業

創業を目指す、あるいは創業後間もない人などを対象に、創業相談会と創業に必要な知識の習得のためのセミナーを開催し、情報を提供するとともに、相談者の状況に応じた経営課題等に関する助言などを行って、本市における起業を促進し、成長を支援する。

なお、本事業は引続き市教育委員会（橋本図書館）との共催にて実施する。



相談会：毎月4回（年間48回、1回4コマ）橋本図書館にて実施  
セミナー：本セミナー5回、サブセミナー9回

事業費 2,578千円

## (2) SOHO支援事業

### ア 相模原SOHOスクエアの運営

市内で創業しているSOHO（スモールオフィス・ホームオフィス）事業者（受注者）とアウトソーシング事業者（発注者）とのデータベース上での受発注システム「相模原SOHOスクエア」の管理・運営を行う。

事業費 一千円

### イ SOHOイベントの開催

SOHO事業者や創業間もない事業者等を対象とした、ビジネス情報提供のためのセミナーと、参加者による互いの交流・情報交換の場を提供する「SOHOイベント」を開催する。

なお、本事業は創業・起業総合支援事業と連携して実施する。

開催回数：2回

事業費 355千円

## (3) コミュニティビジネス推進事業（受託事業）

市民が主体になり、地域で抱える課題やニーズをビジネスの手法（有償サービス）により解決・実現していくコミュニティビジネス育成のため、普及・啓発を行うとともに、セミナー・相談会の開催や、情報交換・交流会（C o C oサロン）の実施を通じて事業の掘り起こしと、その育成支援を行う。

相談会：12回（月1回）開催

C o C oサロン：6回開催

（ミニセミナー、情報交換・交流会）

事業費 3,464千円

## 5 地域経済の振興に関する事業の実施

### (1) さがみはらの銘菓・名産品 登録・発信事業

本市の経済の活性化を目的として、相模原の名産品として相応しい商品(材料・ネーミング等)を募集・登録し、“さがみはら”の銘菓・名産品として、市内外に対し情報発信をする。

事業費 25千円

### (2) 地域企業情報の発信

今年度より相模経済新聞社から記事情報の提供を受けて、市内企業の動向を詳しく発信し、市内企業同士の相互理解や連携強化への一助とする。

また、市内の事業所・商店等を登録して、利用者が検索によって情報収集できるデータベース「産業あるある情報」の登録事業所の増加と、情報利用者の拡大を図る。

事業費 655千円

## 6 法人管理

(1) 理事会・評議員会経費 851千円

(2) 事務所賃借等経費 5,642千円

(3) 車両維持管理経費 767千円

(4) 一般事務費 21,309千円

(5) 指定管理業務受託準備 4,000千円

当財団設立当初の趣旨を踏まえ、相模原市立産業会館を拠点に市内全域のさらなる産業活性化を目指していくため、平成26年度からの同会館の指定管理業務の受託を目指す。

そのため事業運営基金積立資産の一部を取崩し、公募に対する指定申請準備及び指定後の業務開始準備を行う。